

バイオマス取組事例概要

《社団法人日本有機資源協会会長賞》

- ・ 応募主体 福岡県北九州市
- ・ 都道府県・市町村 福岡県北九州市
- ・ 取組分野 バイオマスプラスチック、ボード原料、堆肥、飼料原料等

取組概要

産学官民の連携によるバイオマス利活用事業・研究の展開。

北九州市は、環境保全政策と産業振興政策を融合した新たな地域政策として平成9年より環境産業を基軸とした北九州エコタウン事業を展開している。

事業の振興に際しては、「教育・基礎研究」、「技術・実証研究」、「事業化」の3つの基本コンセプトを柱に事業を進めており、これまでに下記のようなバイオマス利活用事業や研究施設が立地している。

平成14年度に「北九州エコタウン事業第2期計画」を策定し、バイオマスを活用する事業の創出を大きな柱の1つに掲げて取り組んでいる。また、平成15年度には、更なるバイオマス利活用を目指し、「北九州市バイオマス利活用基本構想」を策定するとともに、バイオマスプラスチック利活用事業などの創造を目指し、事業化勉強会を開催するなど、積極的にバイオマス利活用に取り組んでいる。

<北九州エコタウンにおけるバイオマス関連の研究施設・事業>

- ・ おから・食品残さリサイクル事業
- ・ 古紙の家畜用敷料リサイクル事業
- ・ 廃食用油リサイクル事業
- ・ 木材資源循環利用技術開発事業
- ・ 焼酎粕の高度リサイクル技術の研究開発
- ・ 廃木材、廃プラスチック製建設資材製造事業
- ・ バイオマスポリ乳酸システム糖分分離精製発酵施設整備事業（建設中）
- ・ 建設混合廃棄物のリサイクル事業（コンクリート、金属類等）
- ・ 建設混合廃棄物のリサイクル事業（廃木材のチップ化）
- ・ 食品廃棄物のポリ乳酸原料化実証事業

